

いわき民報 社説 本紙の復刊 発行所 いわき民報社

新旅客運賃 常磐線 (上り) 180.00, (下り) 380.00, 磐越東線 120.00, 80.00

財産差押既三二十六件

平税務署では小名濱、江名、田、植田、草野等の財産差押を執行し、三二十六件の差押を行つた。

建設敷地を内郷に譲る

市では昨報の如く十日午後一時より公衆日本間に石炭局の建設敷地を譲る市協賛會を開いた結果、この問題については既に炭務側内郷大字御殿内に適宜な敷地を物色し譲渡運動を起してゐるのを市側としては一應炭務側の提唱することに決定、側面から同地への譲渡に協力することを申合せた。

炭務の組織強化成る

炭務常務委員第九回代表者會は十六日午後三時、市協賛會本館で開かれた。

佐々木建設局 技官にも陳情

小名濱新開道路、小名濱港と新港とを結ぶ産業高度自動車道路建設は太平洋と日本海を直結する唯一の道路なので、小名濱でも全力をあげてその完成を期することになり、十六日港視察のため来町した建設局長佐々木君に陳情した。

資本金壹千万圓也 平倉庫會社をスタート 資本金壹千万圓平倉庫株式會社設立準備會は十六日開き各

所得税の 説明會 平税務署では所得税の趣旨徹底の爲め左の口頭で説明會を開く

小名濱町自家 用車組合成る 小名濱町小野長壽氏を中心として設立準備中だつた自家用自動車組合小名濱支部はこの日創立總會を開き次の役員を決定した

業務醸造用 鹽近く配給 本年度業務者のみそ醸造用鹽の運送が到着したので地方事務所では二兩日に配給する、みそ用は一人當り一六〇グラム、醤油用は一八〇グラム

時局經濟講演會 期日 七月十九日夜七時 場所 市公會堂 日本間 講師 經濟學博士 大野信三 演題 米ノ對立と日本經濟の前途

放射線科 谷口醫院 平市二丁目橋下

いわき民報社 平商工會議所 十八日夜七時民報ホールで交友クラブ主催ノ經濟講演會

